

●ガバナー 築館 智大 ●会長 大橋 央雅 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 米内 安芸

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

## 第 2265 回 例会 記録

《国際奉仕委員会担当例会（米山）》

2023 年 10 月 19 日（木）

点鐘 12:30

レポート No. 1697

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか 出貝職業奉仕委員長



## 《ゲスト》

米山学友・八戸学院大学准教授

楊 麗 栄 様（分水 RC）

RID2830 米山記念奨学委員会委員

山村 和芳様（八戸 RC）

2004-05 年度青少年交換プログラム

派遣学生 洞内 みな子様

## 《ビジター》

大館 一法様（八戸東 RC）

## 《会長要件》大橋会長



先月後半のガバナー公式訪問と IM はつつがなくと言う言葉が適切かどうか分かりませんが終えることが出来ました。皆様のお陰です、ありがとうございました。

RI 会長の重点項目であるメンタルヘルスについて学びましたけれども、あれが全部という訳ではなく、あれはさわりのさわりだと思います。確実にものにするにはいろんな人に「あれどうだったの」「あれどうだったの」と聞かないと全然分からないかもしれませんけれども、幸いにもうちには先生方が沢山いらっしゃいますので、先生方に聞いていただければと思います。

明後日からの地区大会、22 日のさかなクンの講演時にお手伝いしていただければ幸いです。本当に助かります。8 時 50 分までに来てくださいという事なので遅刻なさないようよろしくお願いします。明後日はポリオの旗をもって町まで歩くというイベントもごございますので、一緒に歩いてもいいよという方はよろしくお願いします。

本日の例会は米山の例会です。卓話をお願いしますのでよろしくお願いいたします。

## 《本人誕生日》橋本会員

橋本です、ちょうど明日が誕生日になっていまして 65 という事で、これからまた皆さんにお世話



《出席報告》櫻田副委員長

正会員数 30 名。本日の出席は免除会員 6 名を含む 20 名。出席率は 74.1%です。

になりながらやって行きたいとおもいますので、よろしくお願ひいたします。

## 《結婚記念日》



石橋会員



櫻田会員

## 《表彰状伝達》



第 18 回米山功労クラブ  
三川国際奉仕委員長



第 2 回米山功労者  
久保田会員

## 《幹事報告》伊藤幹事



◦今年度の地区大会はプログラムなどプリントした物がなく、配信されたメールから各自プリントして持ってきてくださいということです。参加される方にはクラブで必要な部分をプリントした物をレターボックスに入れてあります。

◦このチラシがレターボックスに入っていますが後程橋本会員から詳しく紹介があります。

◦青森ロータリークラブから 70 周年の記念誌が届いています。事務局に置きますのでご覧になりたい方

は声をかけてください。

《ニコニコボックス》西尾委員長  
山村和義様（八戸 RC）：

本日は地区米山委員としてお伺いいたしました。よろしくお願いたします。

洞内みな子様：本日この会に出席出来た事、大変光栄に思います！

大橋会長：IM お疲れさまでした。RI 会長の重点テーマの「メンタルヘルス」をいち早く学べるとても良い IM だったと思います。皆様の御協力に感謝します。

伊藤幹事：楊先生、山村さん、今日はよろしくお願いたします。洞内さん、お久しぶりです。会員の皆様、IM ご協力ありがとうございます。

黒田会員：先月の IM ではありがとうございます。お陰様で数名の方から礼状をいただいております。

石橋会員：9/30 の IM では主催の吉田賢治ガバナー補佐、講師の黒田元 RI 理事、そして会員の皆様のお陰で素晴らしい IM になりました。出席された皆様からも大変良かったとお褒めの言葉を頂きました。ありがとうございます。

赤穂会員：楊さん、今日はよろしくお願いたします。洞内さん、ようこそお越し下さいました。

吉田賢治会員：楊先生、山村さんようこそ、洞内さんお久しぶりです。会員の皆様 IM ご協力ありがとうございます。週末の地区大会もよろしくお願いたします。

松橋会員：楊先生、山村さん、今日はよろしくお願いたします。洞内さん、ようこそお越し下さいました。

橋本会員：楊先生ようこそいらっしゃいました。よろしくお願いたします。

本人誕生日：橋本会員

結婚記念日：石橋会員、櫻田会員

《国際奉仕委員会》中村 SAA

本日は国際奉仕委員会三川委員長より米山に寄付をいただいております。ありがとうございました。



《もみじ祭り案内》橋本会員



私に関わっている事業についてちょっとお話しさせていただきます。今日パンフレットをレターボックスに入れてありますが、もみじ祭り、八戸市市民の森不習岳という場所で行われております。今迄私も障がい者の雇用について色々と協力をしてきまして、今、八戸市の市民の森は障がい者の方々によって管理されております。もみじ祭りでは会員の皆様に舞台に立っていただき催し物を行います。この会にも 20 年近く関わってきました。今、ロータリーの方での活動も重点項目として捉えてお

りますので、せっかくの機会ですのでご紹介したいと思っております。ちなみにこの音楽祭の実行委員長をやっておりますので、ちょうど紅葉のきれいな時になりますので散策がてら来ていただきたいと思っておりますし、お食事でもできるように手配してあります。また、障がい者の活動と言うのはどういうことなのかと知る機会にもなるかと思っておりますので、是非お出で下さい。

《ご挨拶》洞内みな子様

皆様こんにちは、ぜんぜんスピーチの準備はしていませんでした。私は 2004-2005 年度の青少年交換プログラムの派遣学生として、アメリカのバージニア州に高校 2 年生の時に留学していました。今日、2004 年から数えてみたら 19 年前なので、気づけばもう年齢が倍以上になっていて、本当にあっという間ではあったのですがこの期間、その時の体験だったりとか、その時の経験、出会いや人とのつながりは、ほぼ 20 年経った今も続いていて、そういう機会を与えて頂いたことに凄く感謝しております。私は今、日本らしさだったり日本の職人が出来る事を海外に伝えたり、橋渡しするという活動にエネルギーを費やしていきたいと思っております。簡単なご挨拶になりますが、今日は本当に有難うございました。



《ご挨拶》山村和芳様（八戸 RC）



皆様こんにちは、今年度地区の米山記念奨学委員会の方へ出向させていただいている八戸ロータリークラブの山村と申します。本日はよろしくお願いたします。

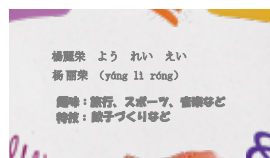
野坂委員長の方から、いつも沢山の寄付をいただき有難うございます、日頃、米山寄付に対しご理解とご協力を頂きましてありがとうございますとの言葉を預かっております。また、同じく委員長の方から今年度の目標として普通寄付 3,000 円、特別寄付 20,000 円と目標を立てておりますので、皆様には何卒引き続きご協力とご理解をお願いいたします。

本日は米山学友の楊先生と一緒に邪魔しております。楊先生よろしくお願いたします。

《米山学友卓話》楊麗榮様（分水 RC）

皆様こんにちは、御紹介いただいた楊です。今日のテーマは卓話ですが、長い版の自己紹介です、よろしくお願いたします。今日は主に私の仕事と研究、それから私とロータリーについて簡単に紹介したいと思います。

まず自己紹介です、ちょっと長めの自己紹介になりますが私の名前は楊麗榮、日本語読みだとヨウレイエイです。実は先ほど大橋会長がきれいな文字だなというふうにおっしゃいました。実は私の中国の名前は、下のすごく簡単な



文字になるんですけども、読み方はヤンリーロンです。私の名前は中国に行くと一回もきれいですねと言われたことがないんです。けど日本に来てから、すごくきれいな名前だねと何人にもいわれまして、本当にうれしくて、本当にありがとうございます。私の趣味は旅行したり、スポーツしたり、音楽を聴くのもすごく好きです。今、毎週土日とかには長根体育館で卓球をやっていますので、もし見かけたら是非お声をかけてください。

私の特技は何でしょうか？ あっ、書いてありました、書いてある通りに餃子作りです。これは私が作った



焼き餃子です。こちらは私が作った肉まんです。私の日本人の友達が、もし餃子作りが出来たなら世界中の人と友達になれると言っていました。私の餃子は特別美味しいので、私もそう思っていますので、もし機会があれば皆さんと一緒に是非餃子作りをしてみたいと思います。

私の生まれは、これはつい最近話題になっているパンダシャンシャンですがシャンシャンはどこに返されたんですか？ そうです四川省です。じつは私の生まれは四川省です、四川省で一番有名な食べ物？ そう麻婆豆腐です。パークホテルの麻婆豆腐もおいしいと聞いています。私は5～6歳までは四川省でしたが、6歳くらいの時西安に引越しました。西安は昔、長安と言いましてとても歴史のある町です。今は大体人口1,000万人位います。大都会です。この左側の写真ご覧になったことがありますか、これは兵馬俑といいまして世界大



8奇跡の1つです。とても見る価値があるので、もし機会があれば是非西安に行ってみて下さい。私はもう何十回も行っているんですけども、友達に来るたびに私は一緒に行くので、右側の下の写真をご覧ください。西遊記です、日本でも公演されていますが人物はちょっと違いますがここに立っている方は三蔵法師です、三蔵法師はどこへ行ってこのお経を取ってきたんですか？ そうですインドです。インドへ行ってお経を持ってきてどこで訳したかと言うと、この一番上の所、大雁塔です。これも西安にありますので



そこでお経を訳していました。それで漢字です。ではこの方は誰でしょうか？ この方は遣隋使の小野妹子です、じつは西安はとても歴史のある

街で、中国では13の王朝もそこで都を作っていました。そこで隨の時代は日本からもとてもたくさんの方が来られて、西安でいろいろ学んで日本に持って帰ってきたというような歴史があり、小野妹子はそのうちの一人です。もう一人です、名前が出ていますよね、百人一首にも出ていますが、阿倍仲麻呂です。この方は遣唐使になっているのですが、この方はとても素晴らしいです。私は会ったことはありませんが、彼は、実は唐の時代において官僚にまでなっているのですよ、官僚になって中国の政府機関で働いています。その当時の中国のとても有名な詩人、李

白という人を聞いたことがありませんか、李白とも大親友です。このような形で日中の友好は今だけではなくて、1,500年前から始まっています。今は国際情勢ちょっとゴチャゴチャになっていますが、私としては草の根の交流を通して、少しでも日中友好のために何か役立てばいいなと思っています。



そこで私の研究もちょっとこれと関わっています。私の仕事ですが、私は今、八戸学院大学に勤めております。主な仕事は2つあります。1つ目は地域経営学科の教員として働いております。主に担当している授業は中国文化と日本語、もちろん日本の学生ではなくて留学生向けの日本語教育を担当しております。それから基礎ゼミとプレゼンテーションですね、基礎ゼミは日本人の学生に論文の書き方、レポートの書き方を教えています。この写真は今年中国文化をとっていらっしやる学生さんたちの授業風景になりますけれども、ちょうどその授業で中国の正月についてお話をしました。中国の正月にはこのような習慣があります。赤い紙にめでたい言葉を書いて門の両側とか上に貼る習慣があります。右の方に福という字がありますがこれは逆さまになっています。なんで逆さまになっているかという、実は下に2つの文字があって、1つ目は到、日本と全く同じで到着の意味です。福が来るという意味があるのでですけども、2番目の文字は逆さまという意味になるのですが、中国では読み方が全く同じで2つ目も「トゥォ」と読みます。それで福を逆さまにすると福が溢れて来るという意味があって、それで逆さまの福を書いています。そのようなことを学生さんに説明して学生さんにも書いてもらいました。習字の体験をしてもらいました。この二人は逆さまの福を書きました。



この写真ですが、本当は今日来るのは私ではなくてこのまん中の女の子になるはずだったのでですけど、彼女は今、うちの大学の看護学科の

3年生ですけども、お陰様で今年の4月からロータリーの奨学金を頂くことになりました。彼女は実習があつてこられないので、代わりに私がここに参りました。これは去年の授業の内容ですが、中国の健康と医療について少し話をしました。彼女は今、看護学科ですけども、実際中国では看護資格は取っています。彼女は漢方についても習ったことがあるので協力をしてもらって、ここに来て耳のツボ、ここを押すとどこどこに良いとかという話をしてもらいました。また、ツボ以外にこういう太極拳の体験もしてもらいました。それで学生さんから楽しい授業だなという話を私が貰いましたのでとても嬉しかったです。私の授業はこんな感じなんですけれども、もう1つの私の役割です、国際教育局にも兼務しております。教育局はどういうような仕事をするかという、中国の大学との連携とか、中国の留学生の受け入れとか、地域住民を交えるイベントの企

画です。一番下の項目ですが、今年から始めた内容です。今迄は上の2つをメインにやってきました。これは去年の6月、中国の大学とオンライン交流した様子です。やはりこういうような交流を通して、学生さんも沢山の刺激を受けて、学生は勿論、教職員も相互理解とか増えていますので、とて



も良い交流会になりました。先程出ていた地域住民を交えるイベントについてなのですが、これも来年の2月にやる計画をされていて、テーマは「世界文化を体験する」ですが、1回目は私が中国ですから中国文化を体験しましょうという事で、そこでまた餃子を作ります。餃子を作ったり中国の伝統楽器を聞いてもらったり、中国の方も、日本に住んでいる外国人の方、もちろん日本の方も来てもらえればうれしいなと思います。こんな感じで私の普段の生活の中で常に外国人、外国語、日本語、異文化と深く関わっています。それで私の研究も、実際そういうようなテーマが多いです。今私が携わっているテーマは「QRコードを生かした医療者向けの会話と異文化理解のやさしい日本語の教材開発」です。この研究は文科省の科学研究費の助成をいただいております。これは4年間かけてやる研究ですが、私は医学関係ではないので、うちの大学とかほかの大学の先生と一緒に連携して、このプロジェクトをやっているという感じです。例えばこういうような研究もしています。これはうちの大学の助成金をもらっているのですけれども、「多文化共生社会をめざした異文化コミュニケーショントレーニングの効果性ー日本人住民と外国人住民を対象とした双方向の試みー」です。結局なんでこういうことを研究しているかというと、皆様もご存知のように日本をはじめ、ユーロはどうか分かりませんが世界で少子高齢化が進んでいますよね、そうすると日本も人材を確保するために留学生とか、技能実習生とかを積極的に受け入れています。このデータをご覧ください。これは2022年、去年の統計数字なんですけれども、重要な部分だけ拡大して説明いたします。例えば青森県で受け入れている外国人はどれくらいいるのかというと、大体6,700人位います。その中で八戸市で受け入れている外国人は1,371人います。これは去年の統計数字になるのですが、なんと八戸市が1番多いのです。県の中では1番多いのです、ただ一つ残念なのは青森県自体は全国では後ろの方で44位くらいです。でも今は人が減っているので、これからもどんどん外国人が入ってくると思います。皆さん2、3ヵ月前の新聞に出てましたが、今は大体50人に外国人1人です。でも、50年後どうなると思いますか？何人のうちの1人が外国人になるんですか？ちょっと当ててみて下さい。そうなんですよ、10人なんです。要するに50年後、私はもう生きていないのですが50年後は10人のうちの1人が外国人になるので、そうすると皆さんは普段から外国人と接しなければいけないというような社会になります。そうすると皆さんは外国人は習慣も違うし、これも違うしちょっ

青森県合計 6,702人	
八戸市 総数	1,371人
ベトナム	369人
フィリピン	241人
韓国	144人
中国	128人

と困るねという事になります。例えば10時に約束したのに何でこの人来ないの、と怒り出すんですよ、私はこの人に昨日プレゼントをあげたのに、今日あっても、まるで何もなかったような顔をしているはどういう事、と言う方も多分いらっしゃると思うのですが、これはやはり国が違うので、言う習慣がないとか、あるいは時間はアバウト、大体の時間で言う国も沢山あります。そこはお互いに理解があれば、「ああそういうことか」別に本人が悪気があってやったわけではないというふうに理解できれば良いかと思

います。

業務スーパーに行かれたことがある方はいらっしやいますか？業務スーパーだと沢山の外国の商品も売られていますよね、ですからそこに行くとなんかの外国人の方と出逢います。こんな感じであちこちに行くとなんかの外国人に出会える機会がどんどん増えています。外国人が来ると経済の活性化にもつながるんですけども、先程申し上げたように良い事ばかりではないんですね、要するに、なんでこんなことあるの、なんでこんなことあるのとギクシャクする事もあるんです。それで私の研究は言語を通して、それから異文化理解とかに関する研究を進めて、なるべく日本人の方、それから外国人の方にとって、ここが住みやすい町であるようにという事を研究していきたいです。

私とロータリーです。実は私も2002年から2003年の1年間ロータリーの奨学金を頂いていました。その当時、ご紹介いただいたように私は新潟の分水ロータリークラブのお世話になっていました。この写真は2017年の写真になるんですけども、ちょうど私は博士課程を修了して14年ぶりに世話クラブを訪問して挨拶に行った時の写真です。左側の男性の方は当時の私のカウンセラーの方です。すごく良くしてくださって、今も連絡を取り合っています。特に正月とか、お歳暮を送り合ったりとかしています。とてもいい方で中国まで一緒に行ってくれました。右の写真は私が八戸市に来る前の最後の活動です。米山学友会の活動です。先ほど紹介しましたが私の博士課程修了した後、2017年までは学生で、途中働いたりもしていましたが、2017年までは学生だったので年は若くはありません。39歳の時に博士課程に入りました。それから中々終了できません、死ぬかと思ったところで4年半掛かってやっと終了できました。

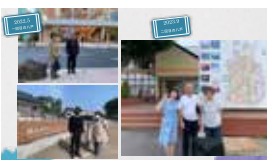


この写真も2017年に撮られた写真です。まん中の男性の方はロータリアンです。この方は私のカウンセラーではなくて、私は若いときには旅行会社で働いていたので、その時のお客様でした。私がロータリーの奨学生である事を聞いて、良く仕事をさせてくれました。その時からの付き合いで、やはり私が博士課程を修了したときに私のために自分の家でパーティーを開いてくれました。私の隣に3人立っていますが、この3人も博士課程を修了して、今、中国と日本の大学で働いています。この人もロー



タリーの奨学金をもらっています。

これは去年の5月と今年の9月の写真になりますが、このお二人は私が八戸に越してきてからも連絡があって、去年も今年もわざわざ会いに来てくださって、私は八戸の美味しい食べ物（紹介出来たかな？）美味しい食べ物と観光地に連れて行ったりして、こんな感じで交流は今も続いています。



話を少し戻しますが、私は5年前に八戸に引越しをして来まして、その当時にさっきの方を通して八戸のロータリー事務局の方と連絡が取れて、そこから青森県の学友会の活動に参加させていただきました。ご存知のように青森県の学友会は2008年、15年前に正式に承認されていて、国内28番目の学友会です。私もここに来て、色々と活動に参加させていただいたのですが、途中でコロナになって学友会の活動も停止になっていたのですが、今年



の5月から再開になりました。これは今年の活動です。今年の8月5日から6日につくばで行われた米山学友による世界大会です。その日は日本は勿論、全世界から来ていますので全部で1,200人です。1,200名の方がこの大会に参加されました。青森県からは野坂委員長をはじめ、私たち学友6名が

参加させていただきました。私たちのテーブルに中国、韓国、ベトナム、モンゴルとかから来ている方が一緒に、こんな感じで国は違って言葉も違うのですが、ロータリーが求心力になって、皆さん一堂に会して話をしたりしました。これは本大会の様子です。皆さん一緒に歌を歌ったりダンスをしたりして、元々国境はあるのですが、この日は国境なしの交流ができました。



最後になりますが、ロータリーは私にとって、本当に、自分が若かったときに奨学金を頂いて、その当時はまだ中国は貧乏だったので、本当に助かりました。そのおかげでバイトもしないで最後の1年間ちゃんと勉強もできましたので、私にとって学業とか生活の恩人です。ロータリーの方は凄く寛容で包容性がある、国際交流にすごく奉仕精神を持っていますので、私もそれが魅力的であると思っています。自分は今ロータリアンではありませんが、ロータリーの学友、奨学生としてロータリーの方を見て、これを見本としてこれからも頑張っていきたいと思っています。引き続きどうぞよろしく願いいたします。

